

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號一第 卷二第

論說

- 收益遞減法則ノ發見及ヒ改造
- 米價ノ騰落ト其調節ニ就テ(三、完)

研究

- 近代都市ノ土地買收政策
- 穀倉證券論
- 本邦出生率増加ノ原因(三)
- 本多利明ノ經濟說(二)

雜錄

- 經濟雜語(二)
- 米國ノ經濟的繁榮
- 戰爭利得稅新法
- 米歐爲替ト貿易
- 諸學校學生入學年齡ニ關スル統計
- 最近本邦鐵業ノ發達ニ就テ
- 最近ノ金融問題(二、完)
- 萊府大學ノ經濟演習
- 米國ニ於ケル外來白人ノ母語

法學博士 河上肇
法學博士 戸田海市

法學博士 神戶正雄

助教授 河田嗣郎

講師 高田保馬

法學士 本庄榮治郎

法學博士 田島錦治

法學博士 神戶正雄

法學博士 小川郷太郎

助教授 河田嗣郎

醫學博士 鈴木文太郎

工學博士 齋藤大吉

トクトル 谷村一太郎

法學博士 西彦太郎

法學博士 河上肇

米國ノ經濟的繁榮

*

法學博士 神戶正雄

米國ノ經濟的發展ノ速度ハ頗ル著シキモノガアル。

(一)最近ノ商務省報告ニ依ルト、其國富ハ一九〇〇年ノ八八、五一七、〇〇〇、〇〇〇、弗カラ一九一二年ノ一八七、七三九、〇〇〇、〇〇〇、弗ニ上ボツテ居ル。即チ此十二年間ノ差増價額九九、二二二、〇〇〇、〇〇〇、弗デ、一倍一割二分一厘ノ増加ニ當ル。其人頭割カライフト、一九〇〇年ニ八一、一六四、弗ノガ一九一二年ニ八一、九六七、弗即チ三千九百三十四圓トナツテ居ル。斯クテ此年間ニ於ケル一人當リ富ノ増加ハ八〇三弗デ、六割九分ノ増加ニ當ル。

(二)更ニ米國ノ國民所得ハ一年ニ平均三五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、弗デ、内農産カラ一〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、弗、礦産カラ二、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇、弗、工産カラ一〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、弗ヲ生スル。而シテ其全所得ノ人頭割ハ實ニ三五〇弗即チ七百圓ニ當ル。此大ナル所得ノ中彼等ノ資本トシテ蓄積シ行クモノガ其五分一即チ七、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、弗ニ當ルトイフコトデアル。

此大ナル富ヲ大ナル速度デ増加シテ行ク米國ガ今ヤ歐羅巴ノ大中小國ガ大戰争ニ參加シテ其生産ヲ制限シ、寧ロ不生産的消費ニ耽ツテ居ル間ニ更ニ益々其富ヲ増殖シツアルコトハ大ニ注目スベキコトデアル。

(一)先ツ彼ノ貿易ハ一九一四年七月一日ヨリ一九一五年六月三十日マデニ八一、〇九四、四二二、七九二、弗ノ輸出超過ヲ示シ、(註一)一九一四年九月一日ヨリ一九一五年八月三十一日迄ノ計算ニヨルト一、三六四、四八七、〇〇〇、弗ノ輸出超

* The Statist. (Oct. 2, 1915) L'Economist Français. (16 & 23 Oct., 1915)

過ヲ示シテ居ル。

(二) 其ニ加フルニ、彼國民ハ歐洲戰爭ノ爲メニ、歐洲旅行ヲ見合スルコトトナリ、之ニヨツテ年少クトモ二億弗ヲ節約スルコトヲ得ルコトニナツタ。

(三) 其結果トシテ、他方ニ彼等ガ年約四億弗許ツツ外國ヘ利子、贈物、勞賃等トシテ出スヘキモノハアルガ其ヲ差引イテモ尙餘アルコト勿論デ、一九一四年九月一日ヨリ一九一五年八月三十一日マデノ十二箇月間ニ歐洲ヨリ亞米利加證券ヲ買戻シ及ビ近隣并ニ其他ノ諸國ニ新放資ヲ爲シタルモノ八億弗ニ上ホルコトトナツタ。

(四) 斯クテ米國ノ有價證券ハ、一體ニ好景氣ヲ示シ、鐵道(ニ放下シタル資金一九、七九六、一二五、七一一、弗ノ巨額ニ上ル)ノ株及債券ノ大多數ハ一兩年前ノ價格ニ比スルト、八一・一五、%方上ガリ、軍需品工場ノ其ニ至テハ非常格外ノ上リ方テ、(註二)例之ベサレハ鋼鐵株ノ如キハ一九一四年ニ二九、 $\frac{1}{2}$ —四六、 $\frac{5}{8}$ ヲ動搖シテ居ツタノガ一九一五年ニハ四〇〇、以上ニ騰ルコトトナツ

タ。せねらるも一どる會社ノ利得ノ如キハ前年ノ倍以上ニ増加シ、(註三)配當ハ五割ヲ増スコトニ止メタガ、後期繰越ノ利益金ハ配當ヨリモ數層倍多クスルコトガ出來タ。(註四)其他鑛山株ナドモ異常ニ上ツタ。

(註一)尤モ此輸出超過ノ勢ヲ大ニシタノハ一九一四年ノ十二月以後ノコトデアル。

(a) 輸出超過ヲ生スル爲メニ、輸出ハ一九一三—一四年度(七月一日ヨリ六月三十日ニ至ル)ノ二、三六四、五七九、一四八、弗ヨリ一九一四—一五年度ノ二、七六八、五八九、三三四〇、弗ニ増加シ、輸入ハ前年度ノ一、八九三、九二五、六五七弗ヨリ此年度ノ一、六七四、一六九、七四〇、弗ニ減退シタ。

(b) 輸入減退ノ原因ハ海運ノ困難ト歐洲ニ於ケル生産ノ制限トニアル。特ニ獨逸ヨリ米國ヘノ輸入ノ減退ニヨル所カ大イ。然シ實際獨逸ハ尙右一九一四—一五年度ノ初メノ十二箇月間ニ米國ヘ八千九百萬弗ヲ輸入スルコトヲ得タトイハルル(前年度ノ一億七千五百萬弗ニ對シテ)勿論其半分ハ中立國ノ手ヲ經テ居ル。兎ニ角之ニヨリ獨逸封鎖ノ不完全ニ行ハレテ居ルコトカ分カル。而シテ米國ニ於ケル輸入減退品ハ特ニ發澤品、絹物、金剛石等デ、米國全體ノ富ノ蓄積カライヘバ却ツテ好都合ナ位デアル。

(c) 輸出増加ノ原因ハイフ迄モナク軍需品及生活方便ノ歐洲ニ於ケル大需要ニアツテ、歐洲以外ノ諸地ニ對スル輸出ニ

至リテハ却テ減退シテ居ル位デアル。但シ齊シク歐洲ニ對シテモ英佛等ヘハ大増加ヲ示シテ居ル。例之佛國ヘハ一四一五年度ノ初メノ十一箇月間ニ前年度ノ同期間ヨリモ二倍以上トナリ、英國ヘハ五割以上ヲ増シテ居ル。然ルニ獨リ獨逸ニ對シテハ九割以上モ減退シテ居ル。而モ其一割ノ殘額モ大部分一九一四年七月ノ分即チ開戦前ノ分ニ係ル。然シ獨逸ノ近隣ノ中立國、和蘭、チかんぢなびヤ、伊太利(一九一五、五月末マデ)ヘノ輸出カ非常ニ増加シ、特ニ諸國ノ如キハ四倍以上ニモナツテ居ルカラ、其等カ獨逸ヘ這入ツテ居ルモノトイフコトカ出來ル。其レカラ輸出増加ヲ示シタル品物、ハイフ迄、モノク、穀物、穀粉、馬、毛織物、革皮、革皮製品、爆發藥、自動車、武器、彈丸、鐵、銅、亜鉛類、こんくりと等テ、此等ノ或モノハ平常ヨリハ二倍三倍甚シキハ十倍以上モ餘計ニ出テ行クコトニナツタ。然シ輸出價格ノ増加トイフテモ輸出品ノ分量ノ増加ノミニ因ルノテハナク、各單位ノ價格ノ上騰ニヨツタル所モ少クナイ。例之、小麥ハ一九一三―四年度ハノ九五、二ゼンミヨリ一九一四―五年度ニハ一弗二八ゼンとニ、鐵粉ハ四弗六〇ゼンとヨリ五弗八一ゼンとニ、燕麥ハ四一ゼンミヨリ五八ゼンとニ上ツタカ如シテアル。平生大輸出シタ物デ減退シタノハ棉花(分量ヨリモ特ニ價格ノ上カラ減退シタ。其價格ハ前年度ノ一二、八ゼンミヨリ此年度ノ八、五ゼンとニ下ツタ)木材、毛皮、及諸多ノ工藝品デアル。

(註) 株ノ相場

最近 不日 附
 十一月 一九一五年 最高 最低
 十月頃ナル

Albis Chalmers Manufacturer Co.	12 1/4	12 1/4	6
American Can	3 3/4	3 3/4	1 1/2 1/4
American Locomotive	28	28 1/4	10 1/4
American Woolen	23 1/4	10 1/4	11
Baldwin Locomotive	12 1/2	23 1/2	2 1/2
Bethlem Steel Corp.	22 1/2	22 1/2	10 1/2
Colorado Fuel & Iron	25 1/2	25 1/2	10
General Chemical	120	120	120
General Motor	26 1/2	26	22 1/2
United States Steel	41 1/2	41 1/2	46
(註三) 一九一三―四年度(八月一日ヨリ七月三十一日迄)			弗 六、九七八、九〇〇
一九一四―五年度			一四、九二六、三〇〇
(註四) 後期繰越金			一一七三一、八〇〇

雜錄

斷ヲシテ居ルト、戰後ニハ大恐慌ヲ起スコトニ
モナラウ。其ハ一時ノコトトシテモ、米國ノ社
會ニハ色々ノ缺陷ガアルカラ、日本モ米國ニ對
シテ油斷ハ無用デアルガ、餘リ恐レ過ギルニハ
及バナイ。日本、タダ全力ヲ盡シテ適當ニ此好
機ヲ利用スベキデアラウ。